

枕崎市 地域学校協働活動だより

令和6年11月号

パソコンで検索 **枕崎市地域学校だより** 検索

スマホで読み取り



発行
枕崎市
教育委員会
生涯学習課

「地域学校協働活動だより」は枕崎市のホームページにも掲載されています。スマホで読み取ったりパソコンで検索して、カラー写真付きの記事をご覧ください。

～ほぜ祭りで太鼓踊りの奉納 南方神社では巫女舞も～ 桜山校区

秋の収穫に感謝する「ほぜ祭り」が10月28日に南方(みなかた)神社、10月29日に妙見神社で行われ、それぞれ山下・水流太鼓踊りと東鹿箆太鼓踊りが奉納されました。



南方神社での山下・水流太鼓踊り

山下・水流太鼓踊りでは、鉦打ち(かねうち)を桜山中の生徒、入れ鼓(いれこ)を桜山小の児童が担当しており、地域の子供たちが郷土芸能の継承を担っています。

南方神社では巫女舞を奉納



南方神社では巫女舞を奉納

東鹿箆太鼓踊りでは、入れ鼓を桜山小の児童が担当しています。また、新棒(しんぼう)踊りという、4人一組の踊りを高校生1人と桜山中の生徒3人が担当し、軽快に跳ねる踊りを披露して大きな拍手を浴びていました。



妙見神社では新棒踊りが元気に跳ねる

ほぜ祭りに地域の子供たちが関わっているのは太鼓踊りだけではありません。南方神社で行われる神事では巫女舞が奉納され、桜山小の児童、桜山中の生徒、加世田高校の生徒の地域の子供たち3人が「浦安の舞」を厳かに舞いました。巫女舞は50年以上地域の子供たちによって受け継がれていて、南方神社の六月燈とほぜ祭りの神事で奉納されています。

南方神社と妙見神社のほぜ祭りには、多くの観覧者が訪れ賑わいました。ほぜ祭りは地域で大切に受け継がれ、地域の絆作りや活力に繋がっています。



大きな芋を掘り出しました

～給食の「秋の味覚汁」の材料に… 待ちに待った芋の収穫～ 枕崎小学校

枕崎小学校では10月17日に3年生2クラス56人が、学校敷地内にある芋畑で「からいも」の収穫を行いました。「からいも探検隊」の授業の一環で、ボランティアの山崎己代治さんと松崎伸男さんに指導していただいて、子供たちが手掘りで大きな芋を掘り出しました。

今年植えた芋は「紅はるか」という甘い芋の品種だったためか、アナグマに食べられて予定より収穫が少なかったようですが、それでも約180キロの収穫がありました。そのうち30キロを10月23日の給食メニューの「秋の味覚汁」の材料として給食センターに提供し、市内全校の児童・生徒が美味しくいただきました。

～天達美代子さんの生歌で踊る 枕崎音頭の指導と学習～ 枕崎小学校

枕崎小学校では毎年の運動会で「枕崎音頭」を全校生徒で踊るのが恒例ですが、今年の10月13日の運動会では4年生の2クラスが代表して踊ることになり、ほかの学年からも注目されるので、美しく踊りたいということで、きばらん海総踊りの指導者である池上かずよさんと、枕崎校区老人クラブの方々の指導で、9月20日と26日に踊りの練習を行いました。



池上さんと老人クラブの方が踊りを指導

さらに、枕崎音頭の歴史や継承してきた人々の思いを学習するために、10月10日に枕崎音頭の歌い手である天達美代子さんと踊り指導者の池上かずよさんを講師に、歌の歴史や歌詞の内容、継承してきた思いなどを学びました。天達さんからは、「枕崎音頭は昭和54年(1979年)に枕崎を盛り上げようと作られた。5番までの歌詞に市内全校区の名物などが織り込まれている。」との話がありました。最後は天達さんの生歌に合わせて4年生48人が枕崎音頭を踊り、大事に受け継いでいくことを誓いました。



枕崎音頭の「秘話」を語る天達さん



天達さんの生歌で枕崎音頭を踊る

～10種類の「昔の遊び」を体験～ 立神小学校

立神小学校では、10月22日に1、2年生と地域の老人クラブの方々が10種類の「昔の遊び体験学習」で交流活動を行いました。当日はあいにくの雨模様で、「目玉遊び」など外でする遊びを屋内で行いましたが、子供たちは、体育館と多目的教室を回りながら、「けんけん遊び」に挑戦したり、体育館の外で「水てっぽう」を楽しんだりして、10種類全部の遊びを体験しました。



「実皮(みかわ)遊び」に初挑戦

「こま回し」のこまは、老人クラブの方が固い木から手彫りで作ります。竹にヒモを付けたものをこまに巻き付け、勢いよくヒモを引っ張ってこまを投げると回りまわります。老人クラブの方に教わって、上手に「こま回し」ができるようになりました。



「こま回し」が上手にできました

～家庭科で手縫いとミシンの指導～ 立神中学校

立神中学校では9月から10月にかけて、2年生と3年生の家庭科の手縫いとミシンの授業があり、「たけのこ」「家庭倫理の会」のボランティアの方々に、4回の授業で延べ16人



2年生へのミシン指導の様子

来ていただいて指導をしてもらいました。それぞれのクラス2時間ずつの授業でしたが、2年生は「チビトートバッグ」など1枚の布からミシンで縫い合わせる作品を、3年生はハサミでフェルトを切り抜いて「おしゃべり動物」や「サッカーボール」など、幼児のおもちゃの製作に取り組みました。2年生、3年生とも時間に追われながらの製作でしたが、ボランティアの方々に教えてもらいながら、上手に作品を仕上げていました。



完成した「おしゃべりたんさん」